

庄原消防署 ☎0824-72-9911・東城消防署 ☎08477-2-4005

乾燥した気候に注意！

令和6年  
全国山火事予防運動統一標語

「忘れない」

山の恵みと  
火の始末

火事に注意しましょう！

例年、この時期は空気が乾燥し、風も強いため山火事が多く発生します。原因のほとんどは、たき火や草焼きなど人の行為によるもので、火が風にあおられると瞬く間に周囲に燃え広がります。

山火事はいったん発生すると、その消火は容易ではなく、一瞬にして貴重な森林を焼失させるとともに、その回復には長い年月と多くの労力が必要となるため、火災を発生させないことが大切です。

山火事を起こさないために

屋外で火を使用する際には、次のことに気を付けましょう。

- 枯れ草など燃えやすいものの近くでは、たき火をしない。
- 風の強い日や乾燥した日

は、屋外で火を使用しない。  
■ 草焼きなどを行うときは、水バケツなどの消火用具を用意する。

- 屋外で火を使用したときは、火を完全に消火するまでその場を離れない。
- タバコは指定された場所で吸い、吸い殻は必ず消す。ポイ捨てはしない。
- 火遊びはしない。させない。

電子メールで届け出の受け付け開始

備北地区消防組合は、2月1日から火災予防関係の手続きにおける電子メールを使用した申請・届け出の受け付けを開始しました。  
送信先のメールアドレスや注意点など、詳しくは備北地区消防組合ホームページに掲載していますので、ぜひご利用ください。

詳しい内容はQRコードを確認



備北消防ホームページ

## 農薬流出防止にご協力ください！

環境政策課環境政策係 ☎0824-73-1398

省令により、水田で農薬を使用するときは「農薬が流出することを防止するために必要な措置を講じるよう努めなければならない」とされています。

除草剤の散布など水田用農薬を使用する際は、農薬が河川などへ流れ出ないように、次のことを守ってください。  
また、代かきから田植えの時期を中心に出る濁り水についても、流出を防ぐために適正な管理を心掛けましょう。

① 降水量が多いときは

農薬散布前後の気象状況に十分注意し、大雨などの恐れがある場合は、農薬の使用を控えましょう。



② 畦畔（あぜ）の補修を

ネズミやモグラ、アメリカザリガニなどが掘った穴により、畦畔から漏水することがあります。

濁り水の流出防止、地・水温や除草剤効果の低下防止のためにも、あぜ塗りをして畦畔を補修し、漏水を防ぎましょう。

③ 農薬飛散に注意を

農薬の散布時には、水路や周辺作物などに農薬が飛散しないように注意しましょう。

④ 浅水代かき

代かきは土くれ（土の塊）が7〜8割見える程度の浅水状態で行いましょう。水量が抑えられるだけでなく、わらの浮き上がりを防止できるため、作業面でもメリットがあります。

⑤ 落水を減らす心掛けを

田植え前には作業をしやすくするために落水する（水を減らす）のが一般的ですが、代かき以降の水量管理に気を配り、田植え前の落水をできるだけ減らすよう心掛けましょう。



⑥ 止水期間は一週間

水田で農薬を使用するとき、止水期間を一週間程度としてください。

